

## 平成 24 年度の事業報告書

平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人

まちづくり機構ユマニテさが

### 1 事業の成果

平成 24 年度事業において特筆すべきは、「佐賀市街なか再生会議」で進めているプロジェクトが新たなステージに進んだことである。これまでプロジェクトを率いてきた「西村浩氏／ワークヴィジョンズ」に加えて「馬場正尊氏／オープンA」、「山崎亮氏／スタジオL」の両氏が参画し、様相が大きく変化してきた。特に「山崎亮氏／スタジオL」が 24 年 8 月にスタートさせた「街なか三日学校」の、市民住民をまちづくりの主役・当事者に育て上げていく取組は、これまでにない流れを生み出している。

現時点でプロジェクトの中心になっている「わいわい!!コンテナ」プロジェクト事業は、第 2 弾として「わいわい!!コンテナ 2」を設置し、回遊性向上の社会実験として実施した。利用者の評判はよく、用途別にコンテナを複数設置したことや、車の進入ができない場所に設置したことから、親子連れには安心安全の空間となったことで前年度以上の高い評価を得ることができた。

テナント誘致事業のうち、「戦略的商機能等集積支援事業」は、5 件の目標に対して 4 件、チャレンジショップは 2 店舗が中心市街地での独立開業を遂げた。自主事業として前年より始めた「空き店舗入店誘導促進事業」は、「家賃助成事業」と「転貸借事業」の 2 本立てであり、「家賃助成事業」は予想以上に反応がよく、22 件の相談があり、うち 5 件を助成したが、今後は予算や事業目的に照らし合わせながら慎重に検討していく必要がある。

賑わいづくりに関しては、新規事業として「街なかバル」を 11 月と 3 月に実施した。一か所でのイベントは、近隣の駐車場に車を止め、イベント会場に集まり、終了すると同時に車で帰宅するというパターンになりがちであり、これでは街の回遊性の向上につながらない。しかしながら、バルは回遊性の向上と参加店舗の新規顧客獲得のチャンスもあるイベントであり、いろいろと反省点はあったが、チケット利用者も多く、参加店側も手ごたえを得た。

その他コミュニケーションの活発化に狙いを定めて積み重ねてきた「BOOK マルシェ」や「楠の杜手づくり市」は、年々質が向上しており市民が心待ちにするイベントとしてすっかり定着してきた。今後は、生命線である質の維持向上を図るとともに、もっと大きな支持が得られるように来場者数の大幅な増加を図りたいと考えている。

#### 特定非営利活動に係る事業

- ① 中心市街地の活性化に関する普及・啓発事業
- ② 中心市街地の整備改善に資する建築物等の施設の整備及び管理事業
- ③ 良好な市街地を形成するためのまちづくりに関する事業
- ④ 中心市街地の整備改善に関する調査研究事業
- ⑤ 中心市街地の歴史、伝統、文化、芸能、芸術及び名物の保存・育成を図るための事業
- ⑥ 中心市街地の環境整備及び環境保全に関する事業
- ⑦ 中心市街地公共空地の管理事業
- ⑧ 中心市街地住民の生活の安全と利便性を確保する事業
- ⑨ 中心市街地の整備改善を図るために有効な土地の取得、管理及び譲渡事業
- ⑩ 中心市街地の商業の充実を図るために事業
- ⑪ 中心市街地の整備改善に関する事業を行う者に対する情報の提供、相談又は援助事業
- ⑫ その他第3条の目的に達成するために必要な事業

#### その他の事業

- ① 駐車場業
- ② 不動産仲介業

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (千円)
① 中心市街地の活性化に関する普及・啓発事業	<b>街なか瓦版発行事業</b> 年に6回隔月に発行。街なかの動きや当機構の活動状況を広く知らしめることにより、中心市街地に対する市民の関心を醸成し、街なかへの来訪を促した。 各5000部を6回発行	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 中心市街地に関するもの (E) 不特定多数	2,613
	<b>ホームページ運営事業</b> 利用頻度の低いコーナーを削除し、より利用しやすいようにタグ付けを変更するなどの工夫を行った。また、ホームページ上にフェイスブックを表示し、フェイスブックをしていない人でも記事が読めるようにするなど改善した。	(A) 通年 (B) 当法人事務所 (C) 2人	(D) 全国のインターネット利用者 (E) 不特定多数	1,373
	<b>電波媒体による情報発信</b> ぶんぶんTVの「街なか情報」に数多く出演し、主にイベントの告知を中心にした広報活動を行った。その他コミュニティFMを活用した広報活動も行った。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 佐賀市。コミュニティFMは旧市街地・小城地区 (E) 不特定多数	302
② 中心市街地の整備改善に資する建築物等の施設の整備及び管理事業	<b>街なか再生会議事業</b> 行政、市民、地元企業、まちづくり団体等が、街づくり計画を策定し、計画実現に向けて関係者が一体となって協力するために会議を開催し、通年活動を行った。 開催回数 5回	(A) 5回開催 (B) 中心市街地内 (C) 3人	(D) 会議参加者延べ100人、その他中心市街地に関わる者 (E) 不特定多数	1,588
	<b>憩いの場づくり事業</b> 前年のわいわいコンテナに続いて、「わいわいコンテナ2」を設置、市民がどんなイメージを持つかを検証するとともに、回遊性向上を図る社会実験を行った。	(A) 6月～3月 (B) 松原二丁目 (C) 7人	(D) コンテナ来場者 (E) 約28,000人	15,110
	<b>コンテナ専用駐車場整備事業</b> 佐賀市所有の旧中央コンタクトレンズ跡地を期間限定でコンテナ駐車場として整備。コンテナ利用者の利便性向上と回遊性向上を図った。	(A) 平成24年10月～平成25年3月 (B) 白山 (C) 1人	(D) 一般市民 (E) 述べ1,500人	437

	<b>まちなか交流広場管理事業</b> 街なか交流広場（656広場）の指定管理者として、施設を管理するとともに、イベント開催等活用促進を図った。	(A) 通年 (B) 呉服元町 (C) 4人	(D) 広場の利用者及び観客 (E) 不特定多数	2,395
③良好な市街地を形成するためのまちづくりに関する事業	<b>共通駐車サービス券事業</b> 中心市街地の加盟駐車場で利用できる共通駐車券を活用して、商店街、個店、事務所へのアクセスを容易にし利便性を高めることが目的。参加登録駐車場を4か所増加させ利便性を高めた。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 共通駐車券を利用する店舗、事業所等、及び加盟駐車場 (E) 店舗事業所の顧客	3,112
④中心市街地の整備改善に関する調査研究事業	<b>空き店舗調査事業</b> 店舗誘致の受け皿となる空き店舗・空地の実態調査を行い、中心市街地の変化を時系列に把握するとともに、独立開業を志す人々へ情報を提供する基礎資料を随時更新作成した。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 相談者、出店希望者 (E) 不特定多数	1,500
	<b>中心市街地まちづくりアドバイザー事業</b> 中心市街地の賑わいを創出するための拠点の整備・施設管理運営等に関する調査を専門家へ委託した。	(A) 平成24年5月～平成24年12月 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 中心市街地を利用する者 (E) 不特定多数	2,499
⑤中心市街地の歴史、伝統、文化、芸能、芸術及び名物の保存・育成を図るための事業	<b>BOOK マルシェ事業</b> わいわいコンテナ2をメイン会場とし、本を媒介にした人と人の出会い、本の楽しさ面白さを発見することによる文化の底上げを図った。11月まで、「わたしの愛読書展」を開催した。	(A) 10月13日 10月14日 (B) 松原二丁目及び呉服元町 (C) 11人	(D) 出店者・来店者 (E) 不特定多数	2,656
	<b>ユマニテ杯ダンスバトル</b> 昨年に続き第2回目を実施した。ダンス愛好の若者の発表の場を設けることで健全育成と来街者の増加を図った。	(A) 11月3日 (B) 呉服元町 (C) 2人	(D) 出場者及び観客 (E) 約300人	677
	<b>ほとめきぶらり旅事業</b> 少人数による街なか再発見の旅プランを2コース各2回、延べ4コースで実施した。	(A) 3月16日 (B) 中心市街地内 (C) 5人	(D) 県内外の応募者 (E) 34人	490
	<b>街なか総文祭開催事業</b> 佐賀県内の文化系のサークルが一堂に会して中心市街地で実施する高等学校総合文化祭を支援する	(A) 平成24年3月17日～31日 (B) 中心市街地	(D) 一般市民 (E) 300人	338

	ことで、市民の文化レベルの向上に貢献。	(C) 2人		
	<b>佐賀北高書道部揮毫会</b> 中心市街地の女将さんで組織する「えびすめ会」との協働事業。全国コンクール17連覇の佐賀北高書道部のメンバーが、市民のリクエストを受けて揮毫するコミュニケーションイベントを実施。	(A) 5月18日 (B) 呉服元町 (C) 2人	(D) 北高生及び観客 (E) 約500人	220
⑥中心市街地の環境整備及び環境保全に関する事業	<b>未実施</b>			
⑦中心市街地公共空地等の管理事業	<b>唐人町緑道管理事業</b> 緑地の清掃管理を行い、地域住民及び来場者に憩いの空間を提供した	(A) 通年 (B) 唐人二丁目 (C) 3人	(D) 地域住民及び通行者 (E) 不特定多数	631
⑧中心市街地住民の生活の安全と利便性を確保する事業	<b>未実施</b>			
⑨中心市街地の整備改善を図るために有効な土地の取得、管理及譲渡事業	<b>未実施</b>			
⑩中心市街地の商業の充実を図るための事業	<b>エスプラッツ誕生祭</b> 初めて佐賀青年会議所とタイアップして実施。エスプラッツ南側道路をミニバスケット3on3会場に、旧HIビル跡地をステージイベント会場として使用した。大勢の親子連れが集結し、これまでとは異なる客層で賑わった。	(A) 8月4日、5日 (B) エスプラッツ、白山 (C) 5人	(D) 祭参加者、観客、観衆 (E) 不特定多数	1,290
	<b>バルーンサテライト事業</b> 松原神社では恒例の佐賀城下骨董市を開催、656広場では、街なか動物園、キャラクターショー、三夜待ナイトを実施し、バルーン期間中の街なかの賑わいを創出した。	(A) 10月31日～11月4日 (B) 中心市街地内 (C) 7人	(D) 県内外のバルーンの観客 (E) 不特定多数	1,660

	<p><b>楠の杜手づくり市事業</b>          全国の手づくり作家を迎えての手づくりアートフェスタ。第6回を迎え、市民にも出店者にも人気イベントとして定着してきた。</p>	<p>(A) 3月9日、10日          (B) 白山町八幡神社          (C) 7人</p>	<p>(D) 県内外から出店の54店、及び来店者          (E) 約4,000人</p>	3,385
	<p><b>公募型空き店舗対策事業</b>          年間を通して出店者を募集し、審査を行い、合格者に対して一部改装費補助を行った。</p>	<p>(A) 通年          (B) 中心市街地内          (C) 3人</p>	<p>(D) 中心市街地で出店を希望する者          (E) 不特定多数(審査の結果出店に至った者4店舗)</p>	15,051
	<p><b>商業者育成事業</b>          独立開業を志す起業家に、1年間の実施トレーニングを施し、本格出店の後押しをする事業。8年目。          延べで4店舗が出店したが、修了したのは2店舗となった。</p>	<p>(A) 通年          (B) 唐人一丁目          (C) 2人</p>	<p>(D) 県内外の新規起業を志す未経験又は経験の浅い商業者          (E) 出店者2店舗</p>	8,458
	<p><b>サマースクール</b>          わいわいコンテナを拠点に、子どもたちを対象としたイベント(カブトムシつかみどり、ヤマメつかみどり等)を実施し、街なかの賑わいを創出した。</p>	<p>(A) 7月14日、15日          (B) わいわいコンテナ          (C) 7人</p>	<p>(D) 一般市民          (E) 350人</p>	829
	<p><b>ウィンタースクール</b>          わいわいコンテナを拠点に、子どもたちを対象としたイベント(リース製作等)を実施し、街なかの賑わいを創出した。</p>	<p>(A) 12月9日、22日          (B) わいわいコンテナ          (C) 7人</p>	<p>(D) 一般市民          (E) 160人</p>	366
	<p><b>佐賀市街なかバル事業</b>          中心市街地の飲食店の食べ歩き・飲み歩きイベント。街なかの店を多くの人に知ってもらい、最終的に活性化に結びつけること。また、イベント会場を複数店舗とすることで、経営者の意識改革を図り、回遊性を向上させることを目的に実施した。</p>	<p>(A) 11月3日          3月2日、3日          (B) 中心市街地内          (C) 6人</p>	<p>(D) 一般市民          (E) チケット販売数          1回目 4,245枚          2回目 5,766枚          合計 2,002人</p>	2,220
	<p><b>九州ご当地グルメフェア in 佐賀</b>          アサヒビール、JTB九州が協賛して実施した食イベント。この広報活動と音響関係を担当した。</p>	<p>(A) 6月2日、3日          (B) 中心市街地          (C) 2人</p>	<p>(D) 一般市民          (E) 35,000人</p>	1,471

<b>飲食店等紹介冊子作成事業</b> 来街者が中心市街地で飲食をす 際の利便性を高めるための冊子 を作成した。	(A) 平成 24 年 5 月 平成 24 年 12 月 (B) 中心市街地内 (C) 2 人	(D) 一般市民 (E) 1 回目 10,000 部 2 回目 8,000 部	1,598
<b>2012 ビューティフェア in SAGA</b> ファッションタウンとしての歴 史を持つ佐賀市唐人町エリアの再 活性化のために関連する業種の店 舗が連携してイベントを実施し た。	(A) 平成 24 年 12 月 1 日、 平成 25 年 3 月 9 日 (B) 中心市街地内 (C) 2 人	(D) 一般市民 (E) 100 人	2,797
<b>さくらマラソンおもてなしパ          ンプ</b> さくらマラソン関連で来街され る方に対し、中心市街地の店舗を 利用してもらえるように特典つき のツールを作成した。	(A) 平成 24 年 11 月 ~ (B) 中心市街地内 (C) 2 人	(D) 一般市民 (E)	1,050
<b>わくわくクーポン券事業</b> 毎年嘉瀬川河川敷で開催される 熱気球大会に車で来場する方を、 佐賀市の中心部に誘導する手法と してクーポン券を渡し、市街地で 買い物をしてもらい、中心部の商 業の活性化を図る。	(A) 11 月~12 月 (B) 中心市街地内 (C) 2 人	(D) 車で会場を訪れる 気球大会の観客及 びクーポン券利用 店舗 (E) 約 1,000 人 (販売 枚数より推定)	918
<b>サガン鳥栖連携イベント事業</b> 旧コンテナ 1 のサガン夢プラザ とコンテナ 2 を拠点に中心市街地 の店舗を回遊してもらえるよう に、参加店にサガン鳥栖に関する 特典を設け広報した。	(A) ①6 月 26 日~7 月 31 日 ②10 月 7 日~11 月 13 日 (B) 中心市街地 (C) 2 人	(D) 一般市民 (E) 1 回目 68 名 2 回目 45 名 3 回目 45 名	1,813
<b>銀天夜市協賛事業</b> 中心商店街の夏の夜の風物詩と なっている銀天夜市を、地元商店 と共催でカラオケ大会、パブリッ クビューイング、チャリティコン サート HOME 実施し、賑わいづく りを支援する	(A) 7 月 7 日、14 日、 21 日、28 日の土 曜日 4 回と 8 月 4 日 (B) 呉服元町 (C) 2 人	(D) 一般市民 (E) 出場者及び観客 約 2,100 人	150
<b>えびすビアパーティー</b> えびすビールと佐賀の恵比須像 を関連付けて、市民の関心を中心 市街地へ向けさせること、及び参 加者同士のコミュニケーションの 活発化を図った。	(A) 7 月 25 日 8 月 22 日 9 月 26 日 (B) 呉服元町、白山 (C) 7 人	(D) 一般市民及び協 賛店舗 (E) 参加者約 2,600 人	1,843
<b>入店誘導促進事業</b> 1 年間の家賃助成や店舗の転貸 を行い、中心市街地への出店を誘 導した。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 家賃助成 5 事業 所	(D) 中心市街地に出 店を考える商業者 (E) 家賃助成 5 件 転貸者 1 件	3,675

⑪中心市街地の整備改善に関する事業を行う者に対する情報の提供、相談又は援助事業	<b>出店コーディネート事業</b> 空き店舗の情報や経営相談、出店相談等中心商店街での総合的な商業相談支援をおこなう	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 3人	(D) 中心市街地に出店を考える起業家、 商業者 (E) 不特定多数	2,800
⑫その他第3条の目的を達成するために必要な事業	<b>のまん缶太事業</b> 飲料水の街づくり支援自動販売機を4台設置し、来街者の利便性向上を図った。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 一般市民 (E) 不特定多数の購買者	234

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者数	支出額 (千円)
① 駐車場業	えびす駐車場を運営し、来街者の利便性、快適性を高め、サービスの向上を図るとともに、得られた収益を非営利活動費に充当する	(A) 通年 (B) 松原一丁目 (C) 3人	19,318
② 不動産仲介事業	未実施		0